

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 20 日作成)

小委員会名	電磁環境教育普及小委員会		主 査 名：吉野 涼二 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (電磁環境運営委員会)		委員長名：持田 灯 主 査 名：遠藤 哲夫
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	設置目的：建築工学における電磁環境（EMC）技術の教育普及 初年度： (1) シンポジウムの実施に基づいた、建築工学系学生の専門教育への適用を目的とした教科書案の更新作業 (2) 大学等における建築 EMC 技術の講義や講演等の実施に関わる活動 2 年度： (1) 教科書「(仮) 建築電磁環境」の改定作業および公開に向けた活動 (2) 建築 EMC 技術の講義や講演等の実施（体制化を含む）		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 吉野涼二（環境調査事務所）、志田浩義（トーキン EMC エンジニアリング）、廣里成隆（竹中工務店）、三枝健二（日本大学）、新納敏文（オータマ）、西村俊哉（日本環境アメニティ）、日高貴志夫（山形大学）、堀之内 淳（電磁環境研究室）、安岡正人（東京大学名誉教授）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2019 年度予算	5,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s33/	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回（web 会議、および年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	第 11 回電磁環境シンポジウム [「建築電磁環境技術に関する教科書作成の目的、意義と特徴」、2021. 3. 8～3. 12、オンライン]
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 教科書の作成と公開：シンポジウムを経て更なる改定作業を予定 2. 建築 EMC 技術講義の実施：未実施（シンポジウムの結果を受けて着手）
委員会活動の問題点 ・課題	

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>疫病の蔓延による社会的な非常事態宣言に伴い、2020 年 2 月に予定していた電磁環境シンポジウムの延期を決定し、基本的に委員会活動の停滞（停止）を余儀なくされた。</p> <p>2020 年度に入り、委員会活動の再開を目指して、中止された電磁環境シンポジウムの実施へ向けての検討を関係者間にて行った結果、2021 年 3 月 8～12 日にオンラインで開催する方向で調整を進めている（2021 年 1 月現在）。これを実施することで、教科書の作成と公開、建築 EMC 講義の実施に向けた活動が再開できると考えている。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。